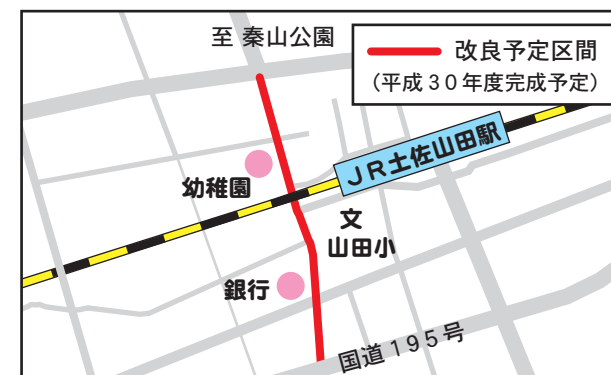
1 まちのかたちを創る

今年度は、市道新町西町線の都市計画道路改良事業として３億７５０万円を計上。総事業費１２億３，８００万円（見込み）で平成３０年度完成予定。

2 みどりを保つ

今年度は、防災行政無線デジタルシステム整備事業に４億６，８４３万円を計上。大栃地区と別府地区の緊急用ヘリコプター離着陸場の整備事業として２，７２１万円を計上。同町神池、五王堂、岡ノ内と合わせ５カ所となる。集会所や住宅に対する耐震化促進事業補助金に４億６２万円を計上。

3 やすらぎを守る

今年度は、市民の健康を守るため健康増進計画に基づき、高血圧対策や歯科保健事業に４，０５９万円を計上。

Pick Up 消防庁舎建設

新消防庁舎の建設工事は昨年６月に着工し、今年６月に完成予定。耐震性を有する庁舎を建設し、消防防災・救急体制の充実を図ります。

▲消防庁舎建設現場

4 賑わいを興す

今年度は、環境制御技術を装備した次世代型ハウス整備を支援する次世代施設園芸モデル事業に１億３，７９９万円。園芸用レンタルハウス設置費用の補助を行う園芸用ハウス整備事業に３，９１３万円。市産木材を使用した木造住宅に対し補助を行う木材住宅支援事業に２，０００万円を計上。

5 未来を拓（ひら）く

宝町グラウンド改修事業に６，６９０万円。老朽化による建て替えが必要な鏡野中学校武道館・プール施設整備事業として３億４，４１９万円。

児童・生徒の学力向上のため、確かな学力育成事業に１，１７０万円。小中学校の不登校児童生徒への支援を行う、ふれんどるーむ支援事業に４，７４３万円。

少子高齢化対策を含めた地域福祉施策として、乳幼児医療などの医療費助成を行う福祉医療費助成事業に２億８２７万円。香美市では平成２７年度から中学３年生までの医療費が無料（平成２６年度までは小学６年生までが助成対象）。

6 みんなで築く

今年度は、物部支所庁舎建設事業として３億３，２７０万円。

社会保障や税、災害などの分野で、適正に情報を管理するための、番号制度（マイナンバー）の導入に関する費用として１億１，２７７万円。

©やなせたかし 香美市イメージキャラクター

Pick Up 鏡野中学校武道館・プール施設整備

鏡野中学校のプールは老朽化が著しいため、鏡野中学校グラウンドを広げる形で造成整備し、武道館を併合した形で新施設を同グラウンドに建設します。新施設では、１階が武道館、２階がプールとなります。総事業費８億円（見込み）。

施設完成イメージ ▶

Pick Up 宝町グラウンド整備

土佐山田町宝町の宝町グラウンドは、内野の土壌改良や外野の天然芝化、トイレ兼倉庫の改築等を行います。来年３月完成予定。

宝町グラウンド ▶

Pick Up 物部支所建設

物部支所庁舎と開発センター物部は築３５年以上経過し、老朽化が著しいため、センターを取り壊し、両施設を複合した施設を建設します。来年１２月完成予定。

開発センター物部 ▶

Pick Up 香北支所建設

建設中の香北支所庁舎が、今年６月に完成予定。旧庁舎を撤去後、駐車場等の外構工事は１０月末完成予定。新庁舎は木材を生かし、地域に調和した建物となります。

▲香北支所新庁舎イメージ